

# コントラバスの修理代金目安

数字はコントラバス専門店の一般的な平均価格です。コントラバスの修理はヴァイオリン属の楽器とはまた少し違います。出来ればコントラバス専門の職人、それが難しければ弦楽器のお店にお願いするようにして下さい。  
表板・裏板のオープンや指板交換、バスバー交換のような修理でない限り 10 万円を超える事はまずありません。  
「どうも金額が高いな」と感じたらコントラバス専門店に妥当な金額かどうかご確認下さい。

毛替え	7000~10000 円	色：白毛、黒毛、ミックスなど モンゴル、シベリアなど毛の種類を選べるお店もあります
弓の棹折れ、ヒビ	10000~30000 円	直せないケースが多いので、再発する可能性を了承した上での作業代金となります
弦交換	1000~2000 円(弦代金別)	作業代金のみ
弦	約 50000~80000 円/4本 ※某サイトなら 30000 円~	定価の 6 割程度で購入出来る安いサイト(下記参照)があります。お勧めの弦はベルカント(オーケストラチューニング)です。
駒調整	3000 円~	
駒交換	10000 円~(駒代金別)	
駒	10000~30000 円	
エンドピン交換	3000 円~(エンドピン代金別)	
エンドピン	15000~60000 円	標準的なものは 20000 円以内で買えます 内径が合えば杖用、椅子の脚用のゴムでも代用可能。※ネジ式は代用不可
エンドゴム	100~3000円 ※ネジ式の高いです	ネットで買えます。必ず内径を測ってサイズの合うものを購入して下さい。
指板、バスバー交換	100000 円~	
ネック折れ	30000~80000 円	知識のない方がやりがちですが、折れたネックを接着剤でくっつけただけでは直りません!
魂柱交換	10000~20000 円	
魂柱位置調整	5000 円~	
本体剥がれ	1箇所 3000 円~	
本体割れ	1箇所 3000 円~	
★割れなどにより本体オープンしなければならない場合 表板、裏板ともに 約 100000~200000 円		

●弦を安く購入出来るサイト ウッドベースドットジェーピー、I Love Strings

※2023 年 5 月現在

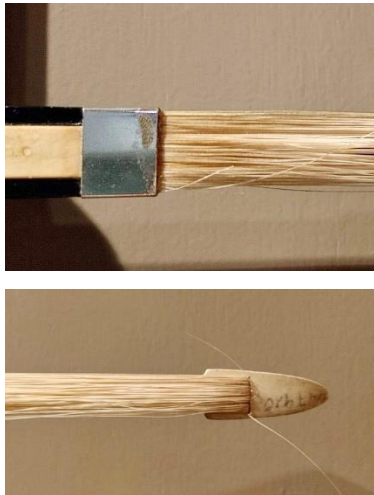
## 弓について

毛が古くなったら「毛替え」をお願いして下さい。毛が古いからといって新しく弓を購入する必要はありません。

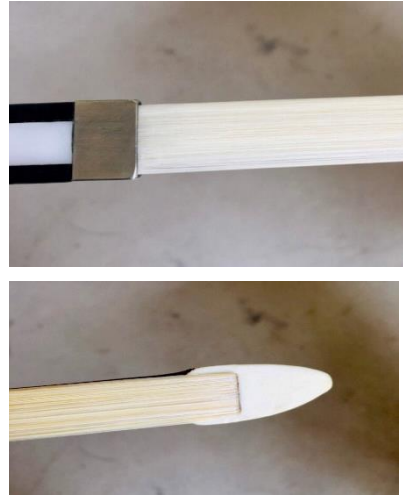
プロは1年に1度のペースで毛替えをしますが、部活の弓であれば2年に1度くらいで良いと思います。

※毛替え代金は価格表参照

毛が古い状態



毛替え後の毛



弓の棹(さお)が欠けたり折れたりした場合、修理は難しいです。軽度の欠けであれば修理をしてもらえる事もありますが、毛を張った時にかかる力によって傷が広がって再発する可能性が高いそうです。弓の扱いには注意しましょう。

弓の棹が欠けている状態



弓の毛替えは自分では出来ません。必ずコントラバス専門店、または弦楽器店をお願いして下さい。

毛替えに出す予算が無い場合、「アセトンリムーバー液」を洗面器などに入れ、毛を浸して洗ってから乾かす事で一時的に毛をリフレッシュする事も出来ませんが、効果は使用している松脂との相性によります。また、液が棹に付着すると弓そのものをダメにしてしまう可能性もあるので、推奨は致しません。実施される場合は自己責任でお願い致します。

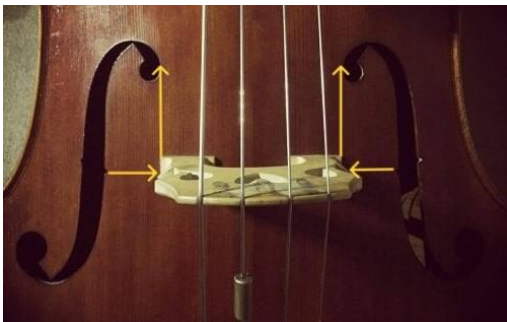
## 駒について

駒は 200kg近い弦の張力によって立っており、弦を全て外すと駒は倒れます。弦を交換するときなど、弦を同時に全て外すことは絶対に止めて下さい。

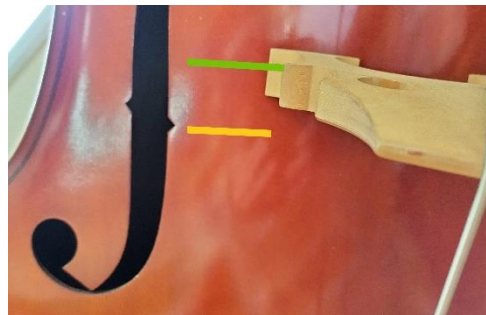
駒の位置がずれていると、左手のポジションや弓の使い方に影響します。

駒は自分で修正しようとするのが危険です。必ず《プロのコントラバス奏者》または《コントラバス専門店》《弦楽器店》にお願いしましょう。

正しい駒の位置

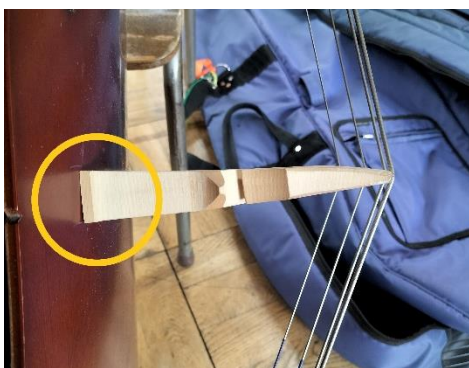


ずれている駒の位置

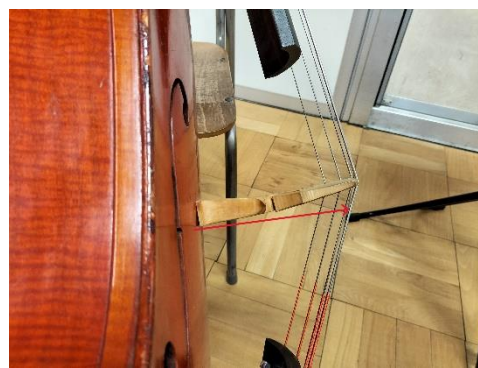


駒は木で出来ているので、湿度や張力の影響によって時間の経過とともに反っていきます。駒が反ると倒れて表板を割ってしまうなど破損の原因となります。

この程度の反りであれば  
コントラバス奏者でも修正可能です



このレベルの反りになってしまったら  
駒交換が必要です(代金価格表参照)



他にも、楽器から「ビー」という音が聞こえてきたら割れや剥がれの恐れがあります。

## 弦について

弦を新しくするだけで音程の取りやすさ、鳴り方が変わります。



予算の限られている吹奏楽部には安価で柔らかい音色の「ベルカント」がお勧めです。

コントラバスの弦には「ソロチューニング（ソロ弦）」と「オーケストラチューニング（オケ弦）」があるので、必ずオーケストラチューニングを購入して下さい。

交換時期の混乱を防ぐため、出来れば 4 本同時に替える事をお勧めします。

管楽器リペアなどに弦をお願いすると定価になってしまいます。

「ウッドベースドットジューピー」「I Love Strings」といったサイトでは定価の 6 割程度で購入出来るので、こちらで購入してコントラバス指導者などに交換して貰いましょう。

## 弦を交換する目安

プロは 1 年に 1 度のペースで交換しますが、弦は高いですし、部活動であれば 2~3 年に一度のペースが良いと思います。弦交換の目安としては「開放弦のチューニングが合いにくくなった」「手で触るとザラザラする」「駒にかかっている弦の巻き（下図参照）が広がっている」といったところです。



弦のこの箇所、巻きが広がってきたら交換を検討しましょう。

長く放置していると弦が切れ、撥ね上がった弦で顔を負傷する可能性があります。

コントラバスは大切に、正しく管理すればきちんと鳴ってくれます。

そして修理代金はそれほど高いものではありません。良い音を出すために、正しい知識を身につけて、相場にふさわしい金額で修理してもらおうようにしましょう。

制作：コントラバス奏者・指導者 鷺見精一

